

2026 年 10 月 26 日

各 位

J X 金属株式会社

## 銅原料 100%リサイクル化を実現した圧延銅箔の販売開始について

J X 金属株式会社（社長：林 陽一、以下「当社」）は、「Cu again（シーユーアゲイン）」シリーズ（※1）の一つとして、銅原料の 100%リサイクル化を実現した圧延銅箔の本格的な販売を 2026 年 10 月より開始いたしました。

当社は、グループ各社やお客様を含むサプライチェーン全体と連携した資源循環の仕組みをいち早く構築し、業界に先駆けて資源循環の社会実装に取り組んできました。その取り組みのもと、100%リサイクル電気銅（※2）や原料 100%リサイクル高機能伸銅品（※3）を展開しており、今回、その対象を圧延銅箔へと拡大します。

本製品は、当社グループ各社が集荷したリサイクル原料を使用し、2025 年に新たに導入した専用製錬炉を含むプロセスで精製した銅を使用します。リサイクル原料のみを溶解して製造することで、銅原料 100%リサイクルが可能となりました。当社の圧延銅箔は、高屈曲性の達成や微細（ファインピッチ）回路向けに、他社品と比べて不純物の極めて少ない銅が不可欠です。本リサイクル圧延銅箔は、これまで当社が培ってきた独自の不純物分離技術を核とする高度なリサイクルプロセス、操業ノウハウにより従来品と変わらない品質での安定生産を実現しております。また、UL 認証についても今後適用していく予定です。

当社の圧延銅箔は、当社独自の結晶構造制御技術により優れた屈曲性や耐久性を有するとともに、幅広い箔厚ラインアップを取り揃え、スマートフォンやウェアラブル端末、モビリティ機器などに搭載されるフレキシブルプリント基板（FPC）の材料として使用されています。同用途向けでは世界シェア約 8 割を有し、情報化社会を支える重要な素材の一つとなっています。

今後、AI 機能の搭載などに伴うデバイスのさらなる高機能化・小型化やウェアラブル機器市場の成長を背景に、圧延銅箔の需要拡大が見込まれています。また、AI サーバーなどで使用されるシールド材としての需要に加え、産業機器やロボット分野においても使用量の増加が期待されます。市場からのリサイクル材料ニーズが高まる中、当社は今般の銅原料リサイクル 100%圧延銅箔の供給を進めることにより、お客様のサステナビリティ推進活動にさらに貢献してまいります。

当社はグループ一貫での取り組みとして、今後、環境負荷の低減に貢献する先端材料として、100%リサイクル原料を使用した圧延銅箔を幅広いお客様へ提案するとともに、製品ラインアップの拡充を進めてまいります。

以 上

※1 「Cu again」シリーズとは

当社グループは、2022 年に「サステナブルカッパービジョン」を策定し、銅がカーボンニュートラル社会の実現に不可欠な資源であるとの認識のもと、拡大する需要を支える安定供給体制の構築、サステナビリティを重視した生産と供給の 2 つの使命の両立を目指しています。

私たちは、お客様とともに資源循環と脱炭素という社会課題の解決を目指します。そのため、当社の 100%リサイクル銅製品を「Cu again（シーユー アゲイン）」という製品シリーズとして社会実装を進めてまいります。「Cu again」には、銅（Cu）が社会での役割を終えてスクラップとして戻り、リサイクルを経て繰り返し（again）未来の社会を支えていくという願いを込めています。

今後、お客様との共創を通じて、「Cu again」の拡充と世の中の資源循環と脱炭素化を促進していきます。

HP リンク：[J X 金属のリサイクル銅 Cu again](#)



※2 詳細は2024年1月31日付プレスリリース「[100%リサイクル電気銅供給モデルの新提案 ～お客様と紡ぐ資源循環～ | 2023年度 | JX金属](#)」をご覧ください。

※3 詳細は2025年1月14日付プレスリリース「[原料 100%リサイクル高機能伸銅品販売開始 — サステナブルなチタン銅合金およびコルソン合金の提案を開始 — | 2024年度 | JX金属](#)」をご覧ください。



新規導入した専用製錬炉



圧延銅箔